

2001年4月17日

東京外国為替市場委員会第42回会合議事録

開催日時	2001年3月29日13:00～15:30
場 所	日本銀行本店新館9階大会議室
議 長	住田 知正(東京三菱銀行)
副 議 長	大倉 孝 (バークレイズ銀行)
副 議 長	花井 健 (日本興業銀行)
書 記	西川 広親(日本銀行)
参加委員数	17名(別紙)

1. 委員の退任及び選任の件

住田議長(東京三菱銀行)より、高松委員(チェース・マンハッタン銀行)及び菅田委員(富士銀行)が辞任する意向を表明したことが報告されました(両委員は、第42回会合にはオブザーバーとして参加)。また、文野委員(さくら銀行)より、さくら銀行と住友銀行の合併に伴い、同委員が3月末をもって辞任する旨の意向が表明されました。

続いて、住田議長より第40回会合(1月22日開催)における決定に基づいて、委員の公募を行ったところ、4名の立候補者があったことが報告されました。

各立候補者について、提出書類に基づく審査、立候補者の所信表明を経て、委員による投票が行われ、4名全員が選任されました。新委員は以下の通り(敬称略、五十音順)。

石川 栄一	(イービーエス・ディーリング・リソース・ジャパン)
市川 亨	(富士銀行)
川鍋 修司	(チェース・マンハッタン銀行)
河野 大介	(シティバンク)

委員の選任について、住田議長より次のような提案がなされ、承認されました。

- ① 委員の任期満了時点から新委員の公募を開始するのでは、今後一度に多数の委員が任期満了を迎えた場合など、委員会活動に空白期間が生じる恐れもある。
- ② これを回避するため、本委員会のホームページ上に、各委員の任期を掲載し、委員の任期が満了する一ヶ月前から立候補者を受け付けることにする。

2. 小委員会再編の件(運営小委員会)

運営小委員長の加藤委員(野村証券)より、同小委からの小委員会再編に関する提案が以下の通り報告されました。

- ① 小委員会を、常設のものと、特定のテーマについて扱うために臨時に設置されるものと2種

類に分ける。

- ② 教育・広報小委員会を教育小委員会、広報小委員会に分離し、運営小委員会、法律問題小委員会と合わせて、常設小委員会とする。
- ③ 臨時小委員会としては、Eコマース小委員会、T+1小委員会、NDF・CFD小委員会、Model Code 小委員会を設けることとし、市場取引に関する小委員会、リスク管理問題小委員会は廃止する。

上記提案は承認され、次に小委員長が以下の通り決定しました。(敬称略)

運営小委員会:	加藤 博光(野村証券)
広報小委員会:	渡辺 秀典(第一勧業銀行)
教育小委員会:	今井 雅人(三和銀行)
法律問題小委員会:	金上 孝(三菱信託銀行)
Eコマース小委員会:	野手 弘一(住友銀行)
T+1小委員会:	小林 和成(ステート・ストリート銀行)
NDF・CFD小委員会:	市川 亨(富士銀行)
Model Code 小委員会:	中島 尚彦(スタンダードチャータード銀行)

各小委員会の委員については小委員長が任命し、本委員会の承認を受けることになりました。

3.海外市場委員会との連絡の件

(1)ニューヨーク外国為替委員会

居村オブザーバー(東京三菱銀行)より、前回会合で報告されたニューヨーク外国為替委員会(以下、NY外為委)からの照会に対して議長名で以下の内容で回答した旨、報告がありました。

- ① 電子商取引、NDF、T+1に関して、これまでの活動状況と、これらのテーマについて今後小委員会を設置し検討を行う予定であること。
- ② 資本規制問題についてはインドネシア・ルピアの通貨規制に関するインドネシア中央銀行副総裁との会合等の活動状況。

続いて、T+1に関連し、米SIA(Securities Industry Association)がNY外為委の協力を得て設置する予定の外国為替小委員会に、東京外国為替市場委員会から参加する意思があるか、NY外為委より問い合わせが来ているとの報告がありました。当委員会の対応について、委員からは、「本件については日本の証券サイドとの協力が必要とみられるが、現時点では緊急性が高い問題とは認識されていないと思われるので、情報交換から始めてはどうか」、「NYで開催される小委員会に恒常的に参加するのは難しいので、検討状況について適宜連絡を受け、当方からも当委員会での議論を随時連絡していくことにしてはどうか」と言った意見がありました。今後は、T+1小委がSIAの小委員会との窓口となり、必要に応じて代表者を派遣することになりました。

また、T+1が東京外国為替市場に与える影響に関しては、「外為取引決済の全面的なT+1化は行わないとしても、証券取引に伴う外為取引をT+1化する際の実務を詰めるべき」、「NYでT+1で決済しようとするアジアは実質T+0になるので、当日中には円転せずドルの入金をもって

対応することになるのではないかと、「大量の取引がT+1で決済されるようになり、T/N に取引が集中した場合、市場の流動性が十分に確保できるのか」といった指摘が聞かれました。

(2)シンガポール外国為替市場委員会

居村オブザーバーより、シンガポール外国為替市場委員会から、5月に開催される世界フォレックス大会の際に、シンガポール、香港、東京の3市場委員会で合同の会合を持ちたいとの打診を受けている旨、報告がありました。これに対し、加藤委員、酒匂委員、中島委員、西川書記の4委員から参加の意向表明がありました。

(3)ロンドン外国為替合同委員会

居村オブザーバーより、ロンドン外国為替合同委員会(以下、ロンドン外為委)の2000年の活動報告が本委員会宛に送付されてきたこと、これに対し、東京外国為替市場委員会の最近の活動等を簡単に紹介した返信を議長名で発出したことが報告されました。本委員会ではロンドン外為委からの連絡を歓迎するとともに、今後とも連絡を取っていくこととしました。

4. Model Code 見直しの件(Model Code 小委員会)

Model Code 小委員会委員長の中島委員より、Model Code の第3章に関し、東京 Code of Conduct (Orange Book)との相違点や Orange Book 改訂の要否等に関する小委員会での検討結果について概要以下のような報告がありました。

- ① Model Code のバックオフィス関連の記述(第3章1条)に比べ、Orange Book では15条1項で事務部門の独立について言及しているのみであるため、ミドル・フロントとの職務と報告の分離について新たな条項を加えてはどうか。
- ② 確認手続きについてはOrange Book の15条が現状にそぐわなくなっており全面的に改訂する必要があると考えられるため、バックオフィスの担当者も交えて再度検討したい。2項の仲介業者経由取引の部分については伊藤委員に内容のアップデートをお願いしたい。
- ③ Orange Book の決済関連の記述は、「手形交換制度」を削除して「RTGS」を追加する等の改訂が必要と考えられる。

5. その他

(1)BBAとの面談

西川書記より、ロンドンにおけるBBAのサイモン・ヒルズ氏との面談を行った旨報告がなされました。CFDのレートがロイターに公表されるようになったものの、実際の取引実施にはまだ結びついていないことなど、ヒルズ氏よりCFD取引の動向を中心に情報が提供されたことの紹介がありました。

(2)ユーロ円預金の金利計算方法

野口オブザーバーより、円預金金利計算時の端数処理に関し国内と海外の慣行の相違^(注)に

関しての調査結果について、暫定的な報告がありました。現在JOMでは 2 つの処理方法(切り捨てと四捨五入)が並存しているが、ほとんどの取引先は四捨五入を採用しているとみられる反面、『インターバンク市場取引要綱』を根拠に、一部の地銀などでは切り捨てを用いている模様。

委員間の議論の結果、現状大勢としては深刻な問題となっていないことが確認されたことから、取りあえず当面は情勢を見守ることとなりました。

(注) 国内円市場では切り捨て、海外市場では四捨五入が一般的な慣行。両者の中間的な位置にあるJOMユーロ円取引では、従来から切り捨てと四捨五入が混在していたため、ボイス・ブローカーでは、例えば、主な当該取引先金融機関毎に採用方式を把握し、端数処理方法が異なる先のマッチングを回避するなどの対応に努めてきた経緯。

以 上

東京外国為替市場委員会委員名簿(3月29日現在)

<委員>

議長	○住田 知正	(東京三菱銀行)
副議長	○花井 健	(日本興業銀行)
副議長	○大倉 孝	(ハークレイス銀行)
書記	○西川 広親	(日本銀行)
運営小委員長	○加藤 博光	(野村証券)
広報小委員長	渡辺 秀典	(第一勧業銀行)
教育小委員長	○今井 雅人	(三和銀行)
法律問題小委員長	○金上 孝	(三菱信託銀行)
Eコマース小委員長	○野手 弘一	(住友銀行)
T+1小委員長	小林 和成	(ステート・ストリート銀行)
NDF・CFD小委員長	○市川 亨	(富士銀行)
Model Code小委員長	○中島 尚彦	(スタンダードチャーター銀行)
	○酒匂 隆雄	(UBS 銀行)
	○石川 栄一	(イービーエス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	○神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)
	○伊藤 一雄	(トウキョウフォレックス上田ハーロー)
	○文野 政和	(さくら銀行)
	○川鍋 修司	(チェースマンハッタン銀行)
	○河野 大介	(シティバンク)

<オブザーバー>

	○高松 力	(チェース・マンハッタン銀行)
	○菅田 克彦	(富士銀行)
	○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○川添 敬	(日本銀行)
	○居村 元	(東京三菱銀行)

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。